



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月6日

上場会社名 スパイダープラス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4192 URL <http://spiderplus.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 伊藤 謙自
 問合せ先責任者（役職名） 取締役執行役員CFO（氏名） 藤原 悠（TEL）03-6709-2834
 半期報告書提出予定日 2025年8月6日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	2,360	23.5	△29	—	△33	—	△38	—
2024年12月期中間期	1,911	—	△347	—	△347	—	△353	—

（注）包括利益 2025年12月期中間期 △38百万円（—%） 2024年12月期中間期 △354百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	△1.10	—
2024年12月期中間期	△10.06	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	4,108	2,619	2,619	2,619	63.7
2024年12月期	4,211	2,645	2,645	2,645	62.8

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 2,619百万円 2024年12月期 2,645百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	5,300	30.2	10	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年12月期中間期	35,381,400株	2024年12月期	35,306,500株
2025年12月期中間期	160株	2024年12月期	160株
2025年12月期中間期	35,312,031株	2024年12月期中間期	35,127,517株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結会計期間	5
中間連結包括利益計算書	6
中間連結会計期間	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

当社グループは、「私たちは、“働く”にもっと「楽しい」を創造する。」をミッションに、建設業の現場業務をDX(デジタルトランスフォーメーション)することで、建設業界の課題解決に貢献する施工管理SaaS(注)「SPIDERPLUS」の開発・販売を主力とするICT事業を展開しております。

(注)SaaS: Software as a Serviceの略称。IDを発行されたユーザー側のコンピュータにソフトウェアをインストールするのではなく、ネットワーク経由でソフトウェアを利用する形態のサービス。

当社グループが事業を展開する建設業界は、都市部の再開発や老朽インフラの整備を主な要因として、引き続き堅調な需要が見込まれております。一方で、少子高齢化に伴う人手不足、人件費や建設資材価格の高騰、2024年4月より適用開始された「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」による時間外労働の上限規制への対応等、業界全体として「生産性向上」が重要な経営課題となっております。

こうした課題に対し、当社グループが開発・提供する「SPIDERPLUS」は、施工管理業務のデジタル化を通じて省人化および業務効率化を実現するものであり、主に総合建設会社(ゼネコン)や総合設備会社(サブコン)の現場監督に利用され、大規模建設現場を中心に導入が進んでおります。

また、建設業界においては人手不足や法規制への対応ニーズの高まりを背景に、各社でIT活用が加速しております。こうした市場環境を踏まえ、当社グループは拡大する建設DX投資需要を的確に捉え、業界内におけるシェア拡大を図るべく、プロダクトおよび組織体制の強化、営業力の拡充、パートナー企業との連携強化に重点的に取り組んでおります。

以上の事業環境及び経営判断のもと、建設業界のDXを推進し生産性の向上とコスト削減に貢献するサービスである「SPIDERPLUS」は、建設業界のIT投資需要を取り込み、契約社数及び1社あたりの契約単価が順調に増加しました。

その結果、「SPIDERPLUS」の2025年6月末における契約社数は2,172社(前年同月比9.4%増)、1社あたりの月額契約単価であるARPAは185千円(前年同月比11.3%増)と堅調に推移し、当中間連結会計期間の売上高は2,360,312千円(前年同期比23.5%増)、営業損失は29,010千円(前年同期は347,492千円の営業損失)、経常損失は33,457千円(前年同期は347,840千円の経常損失)、親会社株主に帰属する中間純損失は38,901千円(前年同期は353,276千円の中間純損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ、36,405千円減少し、3,359,206千円となりました。これは主に売掛金が31,099千円、その他資産が27,638千円増加した一方で、現金及び預金が96,672千円減少したことによるものです。

また、固定資産は、前連結会計年度末に比べ、66,132千円減少し、749,715千円となりました。これは主にソフトウェアの償却に伴いソフトウェアが59,488千円減少したことによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ102,538千円減少し、4,108,922千円となりました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ2,821千円増加し、1,220,369千円となりました。これは主に未払金が55,313千円が減少した一方で、未払費用が22,657千円、その他流動負債が38,349千円増加したことによるものです。

また、固定負債は、前連結会計年度末に比べ79,338千円減少し、268,804千円となりました。これは主に長期借入金が78,870千円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ76,517千円減少し、1,489,174千円となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ、26,021千円減少し、2,619,748千円となりました。これは、主に中間純損失の計上により利益剰余金が38,901千円減少したことによるものです。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ96,672千円減少し、2,644,100千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動の結果使用した資金は、13,030千円(前年同期は322,972千円の使用)となりました。これは主に、減価償却費77,916千円による資金の増加があったものの、税金等調整前中間純損失33,455千円、未払金の減少55,453千円による資金の減少があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は、16,610千円(前年同期は45,299千円の使用)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出16,899千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は、67,030千円(前年同期は383,333千円の獲得)となりました。これは主に、新株予約権の行使による収入12,882千円による資金の増加があったものの、長期借入金の返済による支出78,870千円による資金の減少があったことによるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の予想につきましては、前回発表の通期業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,740,772	2,644,100
売掛金	572,362	603,461
仕掛品	—	1,995
その他	82,489	110,128
貸倒引当金	△12	△479
流動資産合計	3,395,612	3,359,206
固定資産		
有形固定資産	227,142	212,839
無形固定資産		
ソフトウェア	335,459	275,970
ソフトウェア仮勘定	21,235	34,010
無形固定資産合計	356,695	309,980
投資その他の資産	232,010	226,895
固定資産合計	815,848	749,715
資産合計	4,211,460	4,108,922
負債の部		
流動負債		
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	193,071	193,071
未払金	216,735	161,421
未払費用	117,058	139,716
未払法人税等	32,391	29,519
その他	158,291	196,640
流動負債合計	1,217,548	1,220,369
固定負債		
長期借入金	336,677	257,807
資産除去債務	8,760	8,798
その他	2,705	2,199
固定負債合計	348,143	268,804
負債合計	1,565,691	1,489,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,496,082	2,502,528
資本剰余金	2,773,640	2,780,086
利益剰余金	△2,617,673	△2,656,575
自己株式	△188	△188
株主資本合計	2,651,861	2,625,851
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,541	△6,541
その他の包括利益累計額合計	△6,541	△6,541
新株予約権	448	437
純資産合計	2,645,769	2,619,748
負債純資産合計	4,211,460	4,108,922

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,911,027	2,360,312
売上原価	654,328	636,510
売上総利益	1,256,699	1,723,802
販売費及び一般管理費	1,604,191	1,752,812
営業損失(△)	△347,492	△29,010
営業外収益		
受取利息	14	1,321
受取手数料	4,560	211
その他	1,272	836
営業外収益合計	5,847	2,369
営業外費用		
支払利息	4,479	5,691
支払手数料	1,713	623
その他	3	501
営業外費用合計	6,195	6,816
経常損失(△)	△347,840	△33,457
特別利益		
新株予約権戻入益	10	1
特別利益合計	10	1
税金等調整前中間純損失(△)	△347,830	△33,455
法人税、住民税及び事業税	5,446	5,446
法人税等合計	5,446	5,446
中間純損失(△)	△353,276	△38,901
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△353,276	△38,901

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純損失(△)	△353,276	△38,901
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,541	△0
その他の包括利益合計	△1,541	△0
中間包括利益	△354,817	△38,901
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△354,817	△38,901

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△347,830	△33,455
減価償却費	80,848	77,916
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	466
受取利息及び受取配当金	△14	△1,321
支払利息	4,479	5,691
売上債権の増減額(△は増加)	△45,625	△31,099
棚卸資産の増減額(△は増加)	△559	△1,995
未払金の増減額(△は減少)	43,163	△55,453
その他	△45,852	41,444
小計	△311,390	2,193
利息及び配当金の受取額	14	1,321
利息の支払額	△2,103	△5,691
法人税等の支払額	△9,493	△10,854
営業活動によるキャッシュ・フロー	△322,972	△13,030
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,060	△600
無形固定資産の取得による支出	△27,614	△16,899
敷金及び保証金の差入による支出	△251	△219
敷金及び保証金の回収による収入	589	1,108
その他	37	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,299	△16,610
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△32,958	△78,870
長期借入れによる収入	389,651	—
リース債務の返済による支出	△1,259	△1,042
新株予約権の行使による株式の発行による収入	27,900	12,882
財務活動によるキャッシュ・フロー	383,333	△67,030
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,541	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,520	△96,672
現金及び現金同等物の期首残高	2,846,178	2,740,772
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,859,699	2,644,100

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前当期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当はありません。